~ ようこそ天理参考館へ ~

天理参考館は、世界各地の文化や人の暮らしが分かる道具、美術品などを集めた博物館です。 当館は、世界各地の生活習慣や歴史などの知識を深めるため、天理大学創設者、中山正善氏に よって 1930 年(昭和 5年)に創設されました。国内外から集められた収蔵品 30 万点のうち 3 千点を 「世界の生活文化」と「世界の考古美術」のテーマで常設展示しています。

1階・2階:「世界の生活文化」を知ろう

② 細密画「クリシュナ王子」

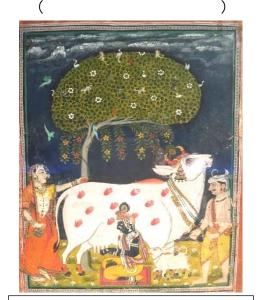
Q1:次の①~⑤の展示品はどこの国・地域のものでしょうか?(

)に国・地域名を記入しましょう。

① 人力車



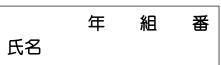
江戸時代、庶民の移動手段は徒歩 や駕籠(かご)、船などでした。明治 時代のはじめに発明された人力車 は、スピードが速く運賃が安かった ため、全国に普及しました。それは 便利さとともに新しい時代の到来を 感じさせるものでした。



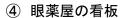
牛の乳をしぼる青色の肌をもつ神さま であるクリシュナは、非常に人気のある神 さまです。クリシュナは牛飼いに育てられ ました。牛はミルクやチーズを人に与える だけでなく、クリシュナの仲間であること から、神聖な動物とみなされています。

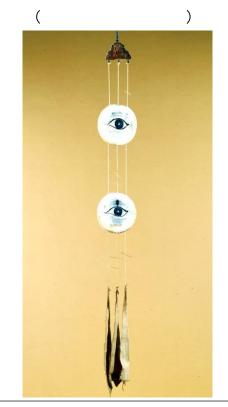


現地で「チャンスン」と呼ばれる この柱は、まるで鬼の様な形相をし ていて、胴体には「○○将軍」とい う文字が見られます。村に災いが入 って来ないよう入口に見張り番とし て立てられていたものです。近年は ほとんど姿を消してしまいました。



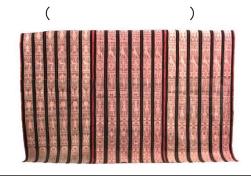
年 月





布製の2つの円盤にそれぞれ「眼」が描 かれています。この図柄には、「当店の薬を つけるとこのように美しい眼になる」と宣 伝しています。円盤をつるす3本の紐(ひ も)に結びつけられている棒は、眼薬をさ す時に使用する道具です。

⑤ 貝紫染めのスカート



紫の模様を出すためには、糸を紫色に染めます。「ヒ メサラレイシ」という小さい貝から採れる分泌液で染 色するのですが、乱獲されたために貝の生息数が減っ てしまいました。「幻の貝紫」と呼ばれることもある 貴重なものです。

Q2:次の展示品はいったい何をするものでしょう?【 】にあてはまる言葉を記入しましょう。

⑥資料名:クラウ(インドネシア バリ島)



左は【 】を削る のに用いる台です。刃がついて いる方を頭にして、三脚の上の木 に馬乗りに座り、ギザギザとした 鉄の刃先で果肉を削ります。

⑦資料名:サトウキビ圧搾機(日本 鹿児島県大島郡徳之島)



長い木の棒を牛馬にひかせて歯車 を回転させ、【 】を差し込ん で絞ります。その絞り汁を煮詰めると 】ができあがります。江戸時 代、奄美地方を支配下においていた 】藩の大きな収入源になって いました。

3階:「世界の考古美術」から歴史を学ぼう

Q3:次の展示品はどこの国・地域の、どの時代のものでしょうか? 下記の年表を参考にして【 】に記入しましょう。

また、 にあてはまる文字を入れ、資料名を完成させましょう。

】時代

(1)

1 半島・ 1 】時代

3] 】時代

4 1 】時代





盛装男子

国•地域【

日本では約1500年前に、一人の権 力者のために古墳をつくる風習があ りました。埴輪は古墳の上に並べた 焼き物です。この埴輪は冠(かんむ

り)をかぶり、髪を結い、首飾りを つけた男性です。古墳に眠る権力者

の姿と考えられます。

(重要文化財)

たんべんれんげもんのきまる単弁蓮華文軒丸

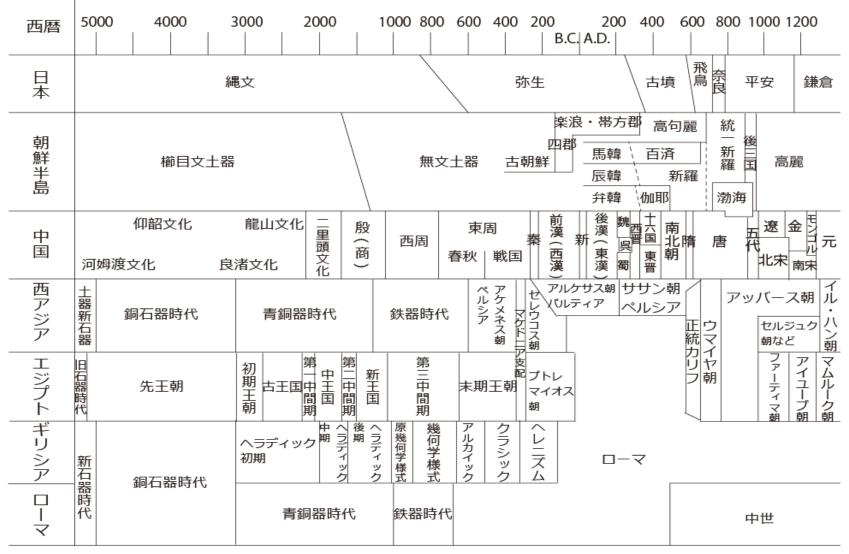
今から1400年前、朝鮮半島の百済(く だら)の技術者は、飛鳥寺を建立(こんり ゅう) するために日本へやって来ました。 その時に瓦の作り方や瓦の文様の描き方 を伝えました。百済の瓦と飛鳥寺の最初の 瓦がよく似ているのは、そのような理由が あるからです。

神将

三彩と呼ばれる華やかな色合いの 焼き物で作られた大型の神将(しん しょう)像。恐ろしい表情で邪鬼(じ ゃき)を踏みつけにし、勇ましく立 っています。右手には武器を持って いたでしょう。邪鬼から墓主を護る 役割を担った守護者です。

頭像 閃緑岩製

グデアは、シュメールの都市国家 の1つ、ラガシュに実在した王。 目を引くのが、グデア自身を彫刻し た像。敬虔(けいけん)な信者であ ることの証(あかし)として自らの 像を神に奉納しました。グデア像は、 世界で30点余り知られています。



Q4:次の展示資料はどのような文物なのしょうか? 説明文中の【

】にあてはまる言葉を記入しましょう。

⑤資料名: 韓式系土器(奈良県天理市布留遺跡/古墳時代)

⑥資料名: 古代の貨幣(中国/戦国時代)



布留遺跡からは朝鮮半島からもたらされ た土器が出土しています。それには褐色(か っしょく)のやわらかいものや、灰色をした堅 いものがあります。表面には格子(こうし)や 】の形をした【 **】**の 文様(もんよう)があります。

】との交流をしめ これらは【 すものと考えられます。



古代中国の春秋・戦国時代になると 】で貨幣がつくられるように なります。【 】形の刀銭など、地 域ごとにさまざまな形の貨幣がつくられ ました。秦が中国を統一すると、貨幣 は、丸に四角穴の【][統一され、この形が以降近世まで使わ れ続けました。